

平成小學 續編

續編では論語の続きともとの「小学」から採取した。

性^{せい}は相^{あい}近^{ちか}し、習^{なら}は相^あ遠^ととお
し

寛^{かん}なれば則ち衆^{しゅう}を得^う、信なれば
則ち民任^{にん}じ、敏^{びん}なれば則ち功あり、
公なれば則ち説^{よろこ}ぶ

仁じんを好このみて学を好まざれば、其の

蔽^{へい} 弊害や愚^ぐ おろか。

知を好みて学を好まざれば、其の蔽や蕩
とつ。

信を好みて学を好まざれば、其の蔽や賊
ぞく。

直を好みて学を好まざれば、其の蔽や絞

こころ。

勇を好みて学を好まざれば、其の蔽や乱
らん。

剛を好みて学を好まざれば、其の蔽や狂
きよう。

郷原は徳の賊ぞくなり。

道に聴きて塗みちに説とくは、徳をこれ棄
すつるなり。

天何をか言つや。四時しじ行なわれ、百
物ひやくぶつ生ず。天何をか言つや。

人の悪を称ししょうするものを悪にくむ。
人が

悪口を言いひのを憎む

下しもに居て上かみを謗そする者を悪む。勇

にして礼なき者を悪む。果敢かかんにして

窒ひんがる者を悪む。曰はく、賜たましや亦ま

た悪むこと有りや。徼かすめて以て知と為

ず者を悪む。不孫ふそんにして以て勇と為
 す者を悪む。訐あばきて以て直と為す者
 を悪む。

往いく者は諫いさむべからず、来たる者は
 猶なほ追おふべし。

言げんげん
 いったことは倫みちに中あたり、行こうこう
 なひは慮のりに中あたる。
 おこ

備そなはらんことを一人に求むなかれ。

君子、賢を尊たうとびて衆しゅうを容いれ、
 善を嘉よみして不能を矜あはれむ。

切せつに問とひて近く思へば、仁其中
に在り。

百工ひゃくこうは肆しにみて以てその事を成
す。

小人の過あやまつや、必ず文かざる。

君子の過ちは日月の食日食月食、すぐに改まる
の如し。

賢者けんじやは其の大なる者を識しり、不
賢者は其の小なる者を識する。

人自^{みづ}から絶^たたんと欲すと雖^{いへど}も、
其れ何^{いづくん}ぞ日月を傷^{やぶ}らんや。

朕^{ちん}が躬^み、罪^{つみ}有^あらば、萬邦^{ばんぽう}

を以つてすること無^なかれ。萬邦罪^{つみ}

有らば、罪^{つみ}朕^{ちん}が躬^みに在らん。

大いなる賚たまものあり。善人これ富とめ
り。

君子は恵けいして費ついやさず、勞ろうして
怨うらまず、欲して貧いか怒怒らず、泰たいに
して驕おごらず、威いありて猛たけからず。

戒いましめずして成なるを視みる、之これを
 暴ぼうと謂いふ。

令れいを慢まんにして期きを致いたす。之を
 賊ぞくと謂いふ。

身は父母ひぼの遺体いたいなり。父母の遺
 体を行おこなふ、敢あえて敬けいせざらんや。

「礼記」

胆たんは大だいならんことを欲し、心こころ
 は小しょうならんことを欲す (胆大心小)

大胆細心 「小学」

智^ちは円^{えん}ならんことを欲し、行は方^ほ

うならんことを欲す (智円行方) 「小学」

正路^{せいろう}の蓁蕪^{しんぶ}、聖門^{せいもん}の蔽塞

へいそく

正しい道はイバラの道 神聖な門は閉塞^{しめふさがつ}

てゐる「小学」

仁者^{じんしや}は盛衰^{せいすい}をもつて節^{せつ}を
改^{あらた}めず。義者^{ぎしや}は存亡^{そんぼう}をも
つて心を易^かへず。「小学」

賢にして財^{ざい}多ければ、則ち其の志を
損^そない、愚にして財多ければ、則ち

其の過ちを益ますす。「小学」

天知る、神知る、我知る、子知る。何ぞ知る無しと謂はんや。「小学」

大禹たいうは聖人せいじんにして乃すす
太古の聖王

なはち寸陰すんいんを惜おしめり、衆人はま

さに分陰を惜しむべし。[小学]

平生の志、温飽おんぼうに在らず [小学]

一釵さい七十万なるは此妖物なり
人が有り難

がるものは、あやしい(ものが多い) [小学]

儉^{けん}より奢^{しゃ}に入るは易^{やす}く奢^{しゃ}より
儉^{けん}に入るは難^{かた}し「小学」

縦書きについては、h2v.js バージョン3.1.0を利用して実現してゐます。このライセンスは <http://tategaki.info/h2v/license/> によります。

h2v.js および h2v.css のライセンス

Copyright (c) 2011–2013 tyz@freefielder.jp

以下に定める条件に従い、本ソフトウェアおよび関連文書のファイル（以下「ソフトウェア」）の複製を取得する非営利の個人または団体が非営利を目的とする場合に限り、ソフトウェアを無制限に扱うことを無償で許可します。これには、ソフトウェアの複製を使用、複写、変更、結合、掲載、および/または頒布する権利、およびソフトウェアを提供する相手に同じことを許可する権利も無制限に含まれます。

上記の著作権表示および本許諾表示を、ソフトウェアのすべての複製または重要な部分に記載するものとします。

ソフトウェアは「現状のまま」で、明示であるか暗黙であるかを問わず、何らの保証もなく提供されます。ここでいう保証とは、商品性、特定の目的への適合性、および権利非侵害についての保証も含みますが、それに限定されるものではありません。作者または著作権者は、契約行為、不法行為、またはそれ以外であろうと、ソフトウェアに起因または関連し、あるいはソフトウェアの使用またはその他の扱いによって生じる一切の請求、損害、その他の義務について何らの責任も負わないものとします。

といふことです。